

令和4年度指定管理者モニタリング評価調書

1 施設状況・事業収支								
施設名称		長泉町文化センター ベルフォーレ						
所管課：部門名		課名（所属名）		チーム・グループ名		担当		
教育委員会		生涯学習課		生涯学習チーム		齊藤 優介		
指定管理者名				代表者				
株式会社SBSプロモーション・株式会社エスピーエスタくみ・株式会社NTTファシリティーズ東海支店				株式会社SBSプロモーション 代表取締役 永田 龍彦				
指定期間				(年)		料金制度適用		
平成30年4月1日～平成35（令和5）年3月31日				5		あり		
法令根拠等		地方自治法第244条 長泉町文化センターの設置及び管理に関する条例						
施設設置目的		長泉町の芸術・文化発信の拠点として、音楽・演劇・講演会など優れた芸術・文化に気軽に接し、鑑賞できる場を提供するとともに、文化団体や生涯学習活動の成果発表など、幅広く利用できる施設として、町内の芸術・文化の向上に努めるために、長泉町文化センターを設置する。						
施設概要		設置主体：長泉町 敷地面積：11,345.53㎡ 建築面積：3,077.02㎡ 延床面積：5,395.73㎡ ホール、楽屋、リハーサル室、イベントホール、第1～3会議室、第1～2工芸室、調理実習室、和室、茶室						
施設の主な実施事業		(1)文化センターの利用の許可及び利用に係る料金の収受に関する業務。(2)文化振興の振興に関する事業の企画及び実施に関する業務。(3)施設及び付属設備の維持管理に関する業務。(4)上記に掲げる以外の、文化センターの管理に関し、委託者が必要と認める業務。						
施設利用状況	利用区分		利用可能日数		利用実績	前年利用実績	対前年比	評価
	ホール		307 日		174 日	112 日	155.4 %	
	イベントホール		345 日		272 日	194 日	140.2 %	
	第1会議室		347 日		192 日	157 日	122.3 %	
	第2会議室		347 日		255 日	209 日	122.0 %	
	第3会議室		347 日		266 日	203 日	131.0 %	
	第1工芸室		347 日		262 日	199 日	131.7 %	
	第2工芸室		347 日		252 日	223 日	113.0 %	
	調理実習室		347 日		138 日	89 日	155.1 %	
	和室		347 日		254 日	204 日	124.5 %	
(特記事項)	リハーサル室		347 日		324 日	274 日	118.2 %	3
	茶室		347 日		26 日	13 日	200.0 %	
事業収支 (単位：円)	収入	予算額 ※補正予算反映後		実績額		評価		
		項目	金額	項目	金額			
		委託料	113,736,000	委託料	113,735,185	3		
		利用料	14,900,000	利用料	14,365,790			
		事業費収入	15,000,000	事業費収入	10,050,782			
		その他収入	700,000	その他収入	764,098			
	計	144,336,000	計	138,915,855				
	支出	人件費	28,315,000	人件費	28,314,812	3		
		事務費	18,867,000	事務費	20,151,177			
		事業費	25,000,000	事業費	17,925,790			
管理費		72,154,000	管理費	70,825,064				
計		144,336,000	計	137,216,843				
収支	計	0	計	1,699,012				
職員配置	協定時の配置予定			配置実績			評価	
	専門性の高いスタッフで運営。 契約社員には長泉町民をできる限り雇用。 館長1名、チーフ（営業企画担当）1名 営業企画係3名（イベントサポート兼務） 施設管理責任者・施設保守担当3名 チーフ（舞台担当）1名、舞台係1名			館長1名、チーフ（営業企画担当）1名、 営業企画係3名、 施設管理責任者・施設保守担当3名、 チーフ（舞台担当）1名、舞台係1名 ※社員10名のうち町民雇用実績5名				3
	施設管理運営に必要な人員が適切に配置されていたか	適切に計画どおり人員配置ができており、町民の雇用については、5名となり50％。						

2 事業の実施状況			
区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
町指定事業	長泉町文化センターの設置及び管理に関する条例第5条 (1) 文化センターの利用の許可及び利用に係る料金の収受に関する業務 (2) 文化振興に関する事業の企画及び実施に関する業務 (3) <u>施設及び附属設備の維持管理に関する業務</u> (4) 前3号に掲げるもののほか、文化センターの管理に関し、教育委員会が必要と認める業務	【自主企画】 ・ペーゼンを弾こう！5DAYS ・避難訓練コンサート ・舞台芸術アカデミー、地域芸能ワークショップ	3
自主事業	2022長泉中学校吹奏楽部演奏会、清塚信也ピアノリサイタル、2022ベルフォール中学生吹奏楽フェスティバル、ハビネスタム、春風亭一之輔、ベルフォール映画まつりvol.136、「ピアノの森」ピアノコンサート、NAOTO7コースティックコンサートwith神原大 スベジャルゲスト：宮本笑里、長泉落語会 A太郎・羽光～夜と昼～、開館25周年記念事業スベジャル・ファミリーコンサート N響団友オーケストラが奏でるディズニー×ジブリの名曲、2023ベルフォール中学生吹奏楽フェスティバル、2023北中学校吹奏楽部演奏会、2023長泉中学校吹奏楽部演奏会	・該当なし	

3 指定管理者業務の実施状況の確認（管理運営全般）		
確認項目	実施状況	評価
利用者の公平性の確保	利用者の平等性 ・チケットの販売等、公にされた期間での販売 ・一般の施設予約について、規定どおりの予約を実施	3

4 指定管理者業務の実施状況の確認（個別業務）			
区分		実施内容	評価
施設の維持管理	協定・仕様等の確認	①電気、空調、給排水等設備管理、②施設・設備保守点検、③修繕、④関係法令に基づく法定点検等の実施、⑤植栽管理、⑥公衆電話の維持管理、⑦駐車場の管理、⑧保安警備業務、⑨損害賠償保険への加入、⑩維持管理用消耗品の購入、⑪光熱水費、通信運搬費の支払い	
	実施計画検証	電気、空調、給排水等設備管理	日常巡視点検、定期点検の実施。
		施設・設備保守点検	定期的に保守点検等を実施。指定管理者でエネルギー管理を実施。
		修繕	修繕計画に基づく修繕を実施。緊急修繕は即時対応。
		関係法令に基づく法定点検等の実施	法令に基づく回数や内容で実施。
		植栽管理	定期的な剪定・除草・消毒等を実施。随時対応も実施。
		公衆電話の維持管理	来館者のための誘導サインやタクシー会社の案内設置などを実施。
		保安警備業務、損害賠償保険への加入	施設賠償責任保険、自動車管理者賠償責任保険等に参加。
		用具・消耗品に関する環境への配慮	グリーン購入ガイドラインを規定し、環境負荷の低減に配慮したものを購入。
	光熱水費、通信運搬費の支払い	省エネルギー対策の実施。その他、節約を心掛けている。	
サービスの維持向上	協定・仕様等の確認	＊利用者の意見を反映させる仕組みづくり（運営審議会のアドバイスを反映した運営、町民アドバイザー会議の実施、町民参加を高める） ＊ソフト面の具体的取組（相談サービス、料金・割引、利用時間・休館日、友の会） ＊ハード面の具体的取組（デジタルサイネージ、案内サイン）	
	実施計画検証	運営審議会のアドバイスを反映した運営、町民アドバイザー会議の実施	新型コロナウイルスに伴う制限など、運営審議会での意見も参照し、町の方針に準じて迅速に対応した。
		利用者アンケートの実施	6月に実施。
		イベントサポート室、友の会の設置	イベント相談等に対する相談窓口設置継続。友の会も同様。 割引企画実施。
		デジタルサイネージの設置	設置済み。広報の動画放映等を実施。
		ユニバーサルデザインに配慮した管内装飾	舞台袖（上手・下手）、ホール、楽屋への導線を床面に明示。
危険管理対策	協定・仕様等の確認	＊施設設備に係る安全への取組（予防保全及び危機管理マニュアルの徹底） ＊災害や事故の防止への取組（AED講習を実施。防災訓練を2回実施。） ＊犯罪防止への取組（不審者・不審物への対応、保安業務） ＊緊急時の対応（マニュアルに基づいた迅速かつ確実な対応）	
	実施計画検証	施設設備に係る安全への取組	消防設備自主点検実施。危機管理マニュアル変更なし。
		災害や事故の防止への取組	AED講習を実施。防災訓練を2回実施。
		犯罪防止への取組	館内挨拶の声かけ運動を実施。
		緊急時の対応	緊急連絡系統図変更なし。
		危機管理マニュアル	危機管理マニュアルの徹底指導。
その他	協定・仕様等の確認	＊個人情報及び情報公開に関する事項（長泉町個人情報保護条例、文化センター個人情報保護方針、長泉町情報公開条例） ＊環境に配慮した管理運営（長泉町環境基本計画）	
	実施計画検証	植栽管理	ISMS認証取得。マニュアルに基づく取扱い講習の継続。
		個人情報に関する事項	公平な運営を継続。貸館情報の透明化を実施。
		省エネルギーの取組	省エネ施策26項目チェック継続。エネルギー管理委員会を2回開催。
		〃	デマンド制御によるコスト削減を継続。
		広報活動に関する取組	静岡新聞・静岡放送など県内メディアへのリリースを実施。
		〃	ホームページの随時リニューアルを実施。SNSによる情報発信を実施。

モニタリング評価調書

5 利用者評価				
区分			内容	評価
利用者評価	利用者アンケート	実施有	(1) アンケート調査	3
			自主事業の開催時にアンケート調査を実施している。	
		未実施		
	利用者からの評価・苦情	(1) 良好とする評価		
		①防災意識が高まり有意義であるため、避難訓練コンサートを継続して欲しい。		
		(2) 苦情・改善等の要望事項		
主な要望		(対応)		
①トイレの洋式化を進めて欲しい。 ②避難訓練コンサートの際に、誘導員の声が聞き取りづらかった。		①改修工事の予定がある旨をトイレに掲示した。 ②反省点として受け止め、次回開催時にはより大きな声で誘導し改善する。		

6 担当課評価				
総合評価	評価区分	評価	総合評価	評価理由
	施設利用状況	3	C	新型コロナウイルス感染症の影響が完全に収束してはいない中で、貸館においてすべての利用区分で昨年度の利用実績を上回る運営ができたことや、利用区分全体の利用率が前年比117.7%であったことが評価できる。 自主事業・自主企画については、新型コロナウイルス感染症拡大状況を鑑み、国のイベント開催ガイドラインに準じて事業の性質により来場者のキャパシティを50%とするなど、感染拡大防止に努めながらも、3件の事業においてチケットを完売させられた実績が評価できる。 また、町内中学校吹奏楽部の支援体制を強化した点や、近年、課題としていた子どもから大人まで楽しめるクラシック分野のコンサートを実施した点も評価の対象となる。 令和4年度は、指定管理協定期間2期5年目として2期4年目までの実績を踏まえつつ、アンケート等により運営を改善する努力が見られた。 項目評価がすべて「3」であるため、総合評価は、期待どおりの「C」とする。
	事業収支	3		
	職員配置	3		
	事業実施	3		
	管理運営全般	3		
	施設の維持管理	3		
	サービス向上	3		
	危機管理対策	3		
	その他	3		
	利用者評価	3		
取り組みに対する指示事項及び改善案等		指定管理協定期間2期5年目が終了した。利用者や周辺住民への苦情対応は、丁寧である。 毎月の定例会において、詳細な話し合いが出来ており、JV（共同企業体）として三者（株式会社SBSプロモーション・株式会社エスピーエスたくみ・株式会社NTTファシリティーズ東海支店）の連携が密に取れている。		

【指定管理者自己評価】	
指定管理者自己評価	
(1) これまでの取り組みに対する評価	
Ⅰ 利用増加への取り組み	
*料金体系・割引サービスの維持 *無料会員組織の設置 *オンラインによるチケット購入システムの導入 *シニア層、子育て世代向けの自主企画の開催（伝統芸能WS）※ベルフォーレJ A Z Zは開催見送り *年2回の利用者意見交換会の実施（令和4年度は未実施※利用者アンケートを6月に実施） *法人向け需要の喚起 *イベント・セミナーでの地域団体との連携（ウクライナチャリティコンサート、中学生吹奏楽フェスティバル）	
Ⅱ コスト削減に対する取り組み	
*電気使用量・・・ 利用状況に応じ空調省エネ対策を実施。コロナ影響から通常年に比べやや施設利用減もほぼ平常に戻りつつあり、コロナ対策で換気を徹底するため空調を入れる頻度を増やすことで、全体では前年度比23.3%上昇した。 *ガス使用量・・・ 電気使用量同様空調省エネ運転を実施。上記の同影響から全体では前年比18.1%上昇した。 *上水使用量・・・ 節水意識は継続。コロナ影響から通常年に比べやや施設利用減もほぼ平常に戻りつつある。前年度はB 1 F男子トイレで漏水発生の影響あり、これを改善し全体では前年比14.8%%減少した。 *井水使用量・・・ コロナ影響によりやや施設利用減もほぼ平常に戻りつつあり、全体で前年比16.1%上昇した。	
Ⅲ その他	
*池田町長の政策に沿った子育て世代応援オリジナルイベント、ハビネスタイムの実施。 *町の施策に連動したブランドシンボルのP R協力。 *長泉中学校、北中学校吹奏楽部のコンクール上位入賞を目指す活動を応援すべく、自主事業（育成事業）として単独演奏会の開催を支援協力。定期公演として毎年継続していく。 *ロビーに大型ビジョンを設置し情報発信（会館情報以外にも町のP R動画を放映）。	
(2) 指定管理者業務実施上の課題	
*設備が古く部品生産停止のため修繕できず新規更新するケースが増え、従来の修繕予算でまかないきれないケースが増えてきており、大規模改修工事で一式更新する必要性を感じている。 *コロナ影響により収支見込みが流動的となるため年間事業計画も流動的に対応する必要がある。 *コロナ禍やウクライナ状況における原油価格や電気・ガス料金を含む物価高騰の影響が大きく年間の収支に影響が出てきている。	
(3) 次年度以降の取り組み	
*電気、ガス、上水の使用について、引き続き省エネ対策を実施するが、感染症対策として換気を優先することも徹底。 *施設利用者の利便性を考慮した、料金体系や割引サービスの新しい企画を検討する。 *ベルフォーレ未来プロジェクトとして、町民参加性・地域連携を意識したイベントを上期・下期と実施していく。 *地域で活躍する人・団体と連携して、長泉町のまちづくりに繋がるまちづくりワークショップを定期的に開催していく。	